



深山観音堂

町内視察の様子(7/27)



どろいむ農園直売所

**A**

つや姫は10年以上かけて開発をしてきた米であり、食味計で図ると「魚沼産コシヒカリ」よりおいしいことであり、日本一おいしいことでありブランド化しない手はない。みなさん、作りたいとおっしゃるが、現在は栽培適地マップを作成し「ブランド化」を指しているの、すぐにはお約束できない。

◆結婚難対策の県の具体的施策について

**Q**

少子化対策の一環で国や県でも結婚難が少子化の要因であることの認識に立たれ施策が打ち出されると聞いていますが、知事の考えをお伺いしたい。

**A**

少子化問題は結婚対策から始めるべきで、社会全体で応援する必要がある。その後、子育て、保育園、教育などの環境整備が必要になってくる。結婚相談員、NPO法人など

の活動に対して支援していきたい。

県では7月に結婚・子育てに夢をもってもらうためのセミナーを開催した。また昨年「子ども政策室」を設置、今年度からは具体的な活動のため「子育て推進部」に移行して県民のみなさんとがんばっていくつもりである。

◆荒砥橋架け替えについて

**Q**

荒砥橋は幅が狭く、大型車の通過は交互に行わなければならない状況であり、早期に着工していただきたい。

**A**

今年3月末、山形県道路中期計画を策定し、その中に荒砥橋を新たに架け替えるとした。今後、架け替えるための測量調査をおこなっていく。時間はかかるが、みなさんの安全安心のため整備をしていくので、着工に向けてのご協力をお願いしたい。

◆総合産業化の施策・支援策について

**Q**

「農林水産業の基盤、技術など、その生産力を強化するとともに、他産業との連携を進め、生産から加工、流通販売を通じて価値を高めていく総合産業化をすすめていく。」という県の具体的な施策・支援策はどのようなものか？

**A**

付加価値をつけて販売することは通年仕事があり雇用にもつながる、そういう方向でいきたい。県としては、「創意工夫プロジェクト支援事業」「農商工連携ファンド」などで支援しているので問い合わせいただきたい。



町民一つ一つの質問に丁寧に答えてくださった吉村知事

**Q** …町民の質問

**A** …知事の回答